

交流タイム特別企画 大学技術移転の本棚
第1回 Tom Hockaday『University Technology Transfer』を読む
英国の実務書から、日本の技術移転・産学連携を考える

UNITT グローバル人材育成委員会では、11月の「交流タイム」の特別企画として、技術移転の実務書を読み、自機関の取組や日々の業務と照らし合わせて意見交換する読書勉強会を企画しています。

今回取り上げるのは、Tom Hockaday 氏の『University Technology Transfer: What It Is and How to Do It』です。

研究者への支援、ライセンス交渉、大学発スタートアップ支援、学内調整など、日々の案件に取り組む中で、「大学は何のために技術移転を行うのか」「自分たちの支援は、研究者や社会にどのような価値を提供しているのか」を、他機関の実務者と考えてみませんか。

今回取り上げる本

本書は、英国オックスフォード大学の技術移転組織で長く実務に携わった著者が、大学技術移転の目的、組織運営、交渉、スタートアップ支援、成果評価などを、自身の経験を踏まえて論じた実務書です。

実務経験と照らし合わせながら読むことで、自機関では当たり前になっている考え方や進め方を見直すきっかけになります。英語原著ですが、今回の勉強会では全編の通読を必須とせず、関心のある章からお読みいただけます。

本書を手がかりに考えたいこと

委員会での意見交換から、例えば次のような問いが挙がっています。

- ・技術移転は何を目指すのか

社会実装、収益、研究者支援などの目的を、自機関ではどう位置付けていますか。

- ・TTO/TLO は研究者にどのような価値を提供するのか

研究者に寄り添う支援と、専門家としての助言をどう両立していますか。

- ・大学はどこまで収益を求めるべきか

ライセンス条件や大学発スタートアップの株式保有について、支援とリターンをどう考えますか。

- ・研究成果を社会や顧客の価値としてどう伝えるか

技術の新しさに加え、「誰のどの課題を解決するのか」をどう説明していますか。

- ・技術移転の成果をどう評価し、伝えるか

収入や件数だけでは捉えきれない成果を、どのように示していますか。

これらは議論の例です。当日は、申込時に寄せられた関心や課題を踏まえてテーマを絞り、日本の実務に引き寄せて意見交換します。

開催概要

項目	内容
日時	2026 年 11 月 26 日(木)18:00～19:00
開催形式	オンライン／UNITT「交流タイム」内
対象	UNITT 会員、および UNITT グローバル人材育成委員の紹介がある非会員

項目	内容
参加費	無料(書籍購入費は各自負担)
使用言語	日本語
ファシリテータ	加藤浩介(UNITT グローバル人材育成委員会)
主催	UNITT グローバル人材育成委員会

技術移転、知的財産、産学連携、研究支援、大学発スタートアップ支援などに携わり、自機関の取組について他の実務者と考えたい方のご参加をお待ちしています。

参加方法と事前準備

参加者が原著を読み、気になった論点や自機関・自業務との比較を持ち寄る、参加者主体の意見交換形式です。ファシリテータは進行と論点整理を担当します。

- ・原著を各自で購入し、関心のある章を事前にお読みください。
- ・全編の通読は必須ではありません。
- ・読んで気になった点や、話し合いたい点を一つお持ちください。
- ・発表資料の作成は不要です。
- ・書籍の購入は、開催決定の連絡後でも構いません。

本企画の実施については、著者の Hockaday 氏から了承をいただいています。

お申込み

申込フォーム:<https://forms.gle/wrq76KBY4vF6f5gf7>

申込締切:2026 年 11 月 3 日(火)23:59

非会員の方は、紹介した UNITT グローバル人材育成委員の氏名を申込フォームにご記入ください。

当日参加可能で、書籍を購入済み・購入予定の方が 5 名以上集まることを目安に、本勉強会の実施可否を判断します。結果は 11 月 5 日(木)を目途に、申込者全員へメールでお知らせします。

実施する場合は事前準備をご案内し、接続先は開催前にお送りします。読書勉強会を実施しない場合も、当日は従来の交流タイムを行う予定です。

まずは今回の試行を踏まえて、今後の企画を検討します。読書勉強会は毎回の開催を前提とせず、交流タイムの特別企画として適宜実施する予定です。

書誌情報

著者:Tom Hockaday

書名:University Technology Transfer: What It Is and How to Do It

出版社:Johns Hopkins University Press

書籍の詳細・購入方法は、出版社公式ページまたは各書店サイトをご確認ください。

お問い合わせ

UNITT 事務局

contact@unitt.jp